



平成16年 広報

にかほ

編集・発行 / 秋田県仁賀保町役場

2/1

No. 1371
毎月1日・15日発行



笑顔で成人

1月12日に行われた成人式。会場の勤労青少年ホームは華やかな衣装に着飾った若者たちの活気に包まれました。

穏やかな青空と港からの心地よい風も、新成人たちの門出を祝っているかのようでした。

今月の主な内容

申告納税相談	P 2 ~ 3
成人式	P 4 ~ 5
町の話題 / 少年教室ほか	P 8 ~ 9
新春クロス当選者発表	P 10
スポーツ講演会のご案内	P 12
暮らしの情報	P 14 ~ 15

平成16年 仁賀保町成人式

成人の日の一月十二日、仁賀保町成人式が勤労青少年ホームを会場に行われ、柔らかな日も差す穏やかな空の下、華やかな着物や羽織袴の新成人が会場に集い、お互いの成人を祝福していました。今年町内で成人を迎えたのは百六十四人で、そのうち百二十二人が式に参加しました。



夢、希望を胸に164人が成人

式典では、新成人一人ひとりの名前が読み上げられた後、巴町長が「成人することは、権利を与えられるとともに義務を負うことでもあります。今後、社会はみなさんを大人として厳格な目で見ることになるでしょうが、同時に、みなさんの新しい感覚と情熱に期待しています」と式辞を述べました。

まつすぐ

自分らしく、そんな大人になりたい。
暗い社会は嫌。明るい日本にして欲しい。

佐藤幹康さん
(寺田)

またーから

がんばろうという気分です。夢は、歴史の教科書に名を残すような人物になること。…地元就職したいが働く場が少なくて大変です。

若林賢太郎さん
(室沢・大館市在住)

趣味

(弓道)をこれからも大切にしたい。

成人式を迎えることができてうれしい。責任感のある大人になりたいです。

松村哲康さん
(三森・秋田市在住)



新成人。 政治への関心度は？

仁賀保町明るい選挙推進協議会では、成人式会場で新成人を対象に「新成人政治意識調査」を毎年実施しています。今回の調査結果からその一部を紹介します。

回答者：63人 回収率：51.6%

Qあなたは新聞を読みますか？

毎日読む …………… 27.0%
時々読む …………… 44.4%
読まない …………… 28.6%

Q新聞のどこを重点的に読みますか？

社会面 …………… 25.4%
政治・経済面 …………… 6.3%
芸能・スポーツ …………… 42.9%
その他 …………… 25.4%

Q県政や町政に関心がありますか？

大いにある …………… 14.3%
少々ある …………… 36.5%
ほとんどない …………… 49.2%

Qはじめての選挙へ行きますか？

必ず行く …………… 42.9%
行かない …………… 11.1%
分からない …………… 46.0%



新成人代表・村上さん



思い出のビデオ映像に大盛り上がり

また、来賓の町議会議長・飯尾善紀氏は、「一人の人格者として自分自身を磨き、敬愛の精神を大切に」、町教育委員会委員長・阿部文夫氏は、「いつも知的好奇心を失わず、苦手な分野への挑戦も大切に」と祝辞を述べ、二十一世紀を支える若者たちへ熱い声援を送っていました。

新成人を代表して壇上に立ったのは村上真知子さん（横根）。「この二十年間を振り返り、家族や地域のみなさんに感謝の気持ちで胸がいっぱいです。これからは、人格を鍛え聡明になり、物事の本質を見極める目を磨くため、挑戦と努力を忘れません」と地域や世界への貢献を誓いました。



佐々木奈保子さん
(鈴)

強く優しい

大人になりたい。
今の大人たちは、もっとしっかりして！私もがんばります。



佐々木志帆さん
(伊勢居地・函館市在住)

理想の

大人はお父さん。
社会に言いたいことは、「ゴミの投げ捨てはしないで！」…今住んでいる函館は分別が厳しいです。



柴田美雪さん
(横根・山形県在住)

将来は

看護師か保健師に。人に気配りできる大人になりたい。人に自慢できる町づくりをして欲しい。あと、遊ぶところが増えたらいいな。

仁賀保の世紀半

祝成人



講演する齋藤幸男町長(昭和41年)

先進的な取り組み

講習期日
一月十三日、十五日

携帯物
米一升五合、野菜と味噌若干、毛布または布団、筆記具、洗面具

講習内容
時事問題、法律的な問題、宗教的な問題、等

随分物々しい講習会のようにすが、これは昭和三十一年、仁賀保町が発足して第一回目の「成人講習会」の案内です。当時の新成人たちは、そうした厳しい(?)講習で成人の自覚を高め、十五日の成人式に臨んだものでした。

この年に成人を迎えた小川好助さん(琴浦)は、「布団など一式をリヤカーに積んで会場の院内小学校に運び、夜は教室に雑魚寝したのを憶えています」と思い出を語ります。

二泊三日の講習会は、県内でも珍しい先進的な社会教育の取り組みとして注目されていました。

昭和三十六年の『秋田魁新報』紙上では「これから県内市町村地域の発展が若い人たちの人間形成にかかっていることであるし(仁賀保町が)青年教育を大切に考えてきたのはけっこうだ」と賞賛しています。さらに、齋藤幸男町長の功績や東京電化(現TDK)・昭和石油・帝国石油の隆盛を列挙しながら、わが町の社会教育の取り組みを秋田県近代化の「一つのモデル」と評価しました。

感激を忘れずに

講習の内容は、町の行政報告、時局講演、宗教教育をはじめ、ゲームやダンスなど盛りだくさん。同年の男女が三日間生活をともにすることで、生活研修的な側面もありました。

昭和三十三年の記録では、講習後の反省会で、炊飯がうまくいかずご飯が硬くなってしまった(メッソ飯)ことが議題に上りました。青年たちは熱心な議論の末、「将来われわれがメッソ飯を口にする時は、じつとがみしめながら講習会の感激を思い出そう!」という結論に達しました。

そんな往時の熱血青年たちも、現在は七十歳目前。今年の新成人から見ればおじいちゃん・おばあちゃんの世代に近くなってしまいました。

この名物講習会は、昭和五十年まで二十年間続き、その後は一泊二日に、そして現在は式典のみの開催となっています。時代が移るい形式が変わっても、新成人に国民の一人としての権利と義務、社会人としての自覚を促すことは、成人式の重要な役割であることに変わりありません。

セーフティロード



冬道のスピードは控えめに
車間距離は多めに

暦の上では春になる二月ですが、まだ雪の多い日が続きます。冬場の路面状態は、気温、日射量、交通量などの変化により時々刻々と変わります。

スタッドレスタイヤやABSを装備した車や四輪駆動車でも、凍てついた冬道では万全ではありません。「急発進・急ブレーキ・急加速・急ハンドル」の「四つの『急』」は絶対してはいけないことです。

仁賀保町の交通事故発生状況(12月末日現在)

区分	12月の事故	H15年累計	前年同期	増減)	
人身事故	件数	4件	44件	50件	6件
	死者	1人	2人	0人	2人
	傷者	3人	56人	59人	3人
物損事故	22件	167件	171件	4件	

当選者発表

当選者

(順不同・敬称略)

図書券(3,000円相当)

佐藤 大作(埼玉県) 佐々木文子(鈴)
佐藤 直樹(鈴) 矢作 浄子(室 沢)
高野さつ子(横 根)

知的立体パズルゲーム「キャストパズル」

林 智子(東京都) 佐藤 嘉恭(神奈川県)
小松 完(京都府) 遠藤由宇子(芹 田)
佐藤千代子(鈴) 喜原 美紀(平 沢)
渡辺恵理子(室 沢) 阿部 幸子(室 沢)
佐々木伸一(琴 浦) 横山 道子(琴 浦)

「広報にかほ」ペンセット

菊地 章(埼玉県) 久保 敦子(茨城県)
相庭 善輝(神奈川県) 石本 秀雄(東京都)
中川 文子(静岡県) 佐藤 菊男(平 沢)
阿部 慎吾(平 沢) 阿部 洋子(平 沢)
菊地 淳一(室 沢) 服部 好美(室 沢)
斎藤 彩奈(室 沢) 鈴木 弘子(琴 浦)
高橋 勝美(琴 浦) 佐藤タツ子(両前寺)
相庭 正(樋ノ口)

新年号に掲載しました「新春クロス」には、町内外から多数ご応募いただきました。正解と当選者を発表します。

【問題】2003年、開校50周年を迎えた釜ヶ台
中学校の校訓と言えは？

正解 = フトウフクツ(不撓不屈)

意味は「困難にあっても、ひるまずくじけないこと」。ご応募いただいた76通すべて正解でした。抽選の結果、左記のみなさんが当選されました。おめでとうございます。

カ	ク	テ	ル	エ	マ	ヘ
ブ	ケ	ツ	ア	ニ	セ	エ
ロ	ツ	ジ	バ	リ	ア	フ
ー	ユ	ソ	ウ	ウ	エ	ツ
ド	ツ	ク	リ	オ	ス	ミ
バ	ボ	チ	ヤ	ン	サ	ト
ン	ヨ	ミ	ガ	エ	ル	フ
ド	ヨ	ウ	ル	イ	ケ	ル
シ	シ	サ	ト	リ	グ	
ハ	ン	シ	ン	タ	イ	ガ
						ー
						ス



一年の計は元旦にあり

新年の第一歩

仁賀保町歩こう会主催の「元旦に歩こう会」は今年で十二回目を迎えました。新春を飾るにふさわしい穏やかな晴天のもと、スマイルを出発した一行は、道行く人々と新年のあいさつを交わしながら、正月ムードいっぱい町の町内を行進。途中立ち寄った神社では、一年間の健康を祈願し、皆で手を合わせていました。



除夜の鐘

往く年を反省し、来る年に希望を託して除災招福を祈る。昨年、鐘楼堂が新設された高昌寺(三森)では、大晦日の深夜に参詣に訪れた皆さんが、一人ひとり鐘つきを行いました。境内には、時計の針が十二時を回ってからも次々と参詣者が訪れ、新年の夜空にそれぞれの決意を込めた鐘の音を響かせていました。



町のこと広報のこと

今年も新春クロスの回答に、さまざまな「ひとこと」を添えていただきました。貴重なご意見ありがとうございます。

難しかったので解けた時はうれしかったです。どうか、お年玉が当たりますように…。

(県外・小学生)

「あの人の笑顔に会いたい」が好き。僕も夢に向かってがんばります。

(町内・10代男性)

広島カーブに入団する仁部智さんに頑張ってもらいたい。ヤクルトの石川投手のように秋田の星になってほしいな！。

(町内・20代女性)

新年号はフルカラーにした方がいいかな〜と思いました。一年の初めくらいは少し華やかに

(県外・20代女性)

仁賀保に住んで11か月。夫以外に知り合いのいない私にとって、地域の情報を知ることができる広報の存在は大きなものです。

(町内・30代女性)

写真がうれしそうですね。視力が弱いので目がいきます。

(町内・40代女性)

新春号の「ふるさとへの手紙」。明日からまた頑張つて生きて行くこと思っている企画だと思いました。

(町内・40代男性)

三町合併、いろいろあるんですね。すんなり決まるとは思っていませんでしたが残念です。

(県外・50代女性)



町のホームページにも掲載されている広報。過去の号も載せてもらえればなお良いかと思えます。

(県外・50代女性)

「ボケ防止」のために、クイズに挑戦しました。大変むずかしかったです。

(町内・60代女性)

駅も変わり、道も明るくなって昔の面影もない所も…だんだん仁賀保も変わっていくなあと感じております。

(県外・60代男性)

孫たちといっしょにパズルを考えました。中学生、高校生の情報がなかなか身近にないので取り上げていただければと思います。

(町内・60代女性)

町出身で県外や海外でがんばっている人たち、海外や県外から仁賀保町に来た人たちを紹介する企画もいいと思います。

(町内・60代女性)

Visitor 訪問客

クリスマスとお正月にはいつもアメリカの実家に帰っていましたが、今回は韓国とタイ、そしてベトナムに旅行しました。

僕の出身地、オクラホマ州には大きな観光地がないので、旅行の間、観光地に住むのはどんな感じなのだろうとずっと考えていました。ソウルやバンコク、ホーチミンの人々は、毎日訪れる何千人もの外国人観光客をどう思っているのかと。来なければいいのに…と思う時もあるのでは？

旅行中、現地の人々のほとんどは親切に接してくれました。「ハロー！」と声をかけてくれる人や、手を振ってくる子どもたちも。

ホテルやレストランの人たちも僕らを見て嬉しそうでしたが、韓国語やタイ語、ベトナム語を話せない僕らを相手にするのは大変だろうなと思いました。「ありがとう」と「こんにちは」くらいはその国の言葉で伝えたかったけど、ただ微笑むことしかできませんでした。だから、できる限り失礼にならないように親しみを込めて彼らに接しました。

楽しい旅行でした。でも観光地に住む人々をちょっと気の毒に思いました。一人や二人だったら良いのですが、毎日何百人、何千人もの観光客は… ちょっと大変そうです。

ABCから始めよう!

外国語指導助手

ジョシュア・ニュー



タイのコーサメット・ビーチにて